

初めての学会参加

一関 瑛貴

最初 SIETAR Japan（異文化コミュニケーション学会）への参加が決まった時、私は「学会」と呼ばれるものへ今まで参加したことが無く、何か堅苦しいイメージが付きまとっていましたが、当日参加した際、そのイメージとは違い全体的にカジュアルな雰囲気に囲まれていたことにとっても驚きました。

序盤に参加したポスターセッションでは英語のレポートも多くあり、少し怖気づくこともありましたが、『日・中・韓の歴史認識を超えた異文化理解の試み』や、『日本における「ハーフ」の自身に対する意味づけの変遷に関する研究』など様々な分野のレポートがあり、非常に興味深かったです。

その後、参加型のアクティブラーニングワークショップにも参加させて頂きました。ここでは、『自分の将来の夢』を具現化した絵を描きそれを共有するというものでしたが、他の人の意見も交えながら改めて自分は何を目指しているかなどを見つめ直す良い機会となりました。

今回の SIETAR Japan では多くの人が真剣な表情で物事に取り組んでいましたが、その中で笑みがこぼれる瞬間も多かったのがとても印象的でした。また高校生の段階でこのような学会に参加できたのは非常に貴重な経験となったと思います。



スペイン語とスペイン語圏の文化

今田 慎吾

言語文化研究会の活動で訪れたのは東京都港区赤坂にあるイスパニカというところです。ここでは主にスペイン語圏の国々、中南米に関する情報を扱うのに加え、スペイン語教育にも優れているという機関です。今回はこのイスパニカが普段どのような事業を展開しているのか、また初級のスペイン語のレッスンを受けました。

ここでは、中南米、メキシコ以南各国の経済情報、政治、治安などの実際の現地情報をそのまま翻訳しているので、基本的な事柄はもちろん普段はあまり知ることのできないような興味深い情報までもが記載されていて、この地域に対する視野をグッと広げることができました。また国別に比較ができるように区切られているので、同時並行でいろいろな国々を見ることができて良い経験になりました。

イスパニカの活動内容の説明の後、スペイン語の体験レッスンを受けました。スペイン語は挨拶程度であった自分ですが、基本的な挨拶はもちろん、苦手な人も多いであろう文法まで0から始めてもわかるように教えていただきました。スペイン語は発音と聞き取りがしやすく、英語のように音の複雑な変化で聞き取れない！ということが少ないので、馴染みやすいのではないかと思います。スペイン語圏のリアルタイムの情報に加え、その言語まで学べるという、とても貴重な体験ができたことに感謝したいです。



はじめての言語学

言語文化研究会では、毎週月曜日の放課後セミナーが実施される。そこでは、最初に音声学入門書の『音とことばのふしぎな世界』という本を使い、音韻論／音声学の基礎を学んだ。また、事前に担当者を決めてその本の指定範囲を要約し、一人ずつ発表する。そして、毎回参加者同士でそれについて白熱した議論が交わされるのだ。

私は、セミナーに参加していたものの、音声学について今一つ理解することができずにいた。そのため、自分が発表する時にはたいへん苦労した。1週間、何回も本を読み返し、やっと原稿を作成できた。発表を無事に終えた時は、ただただ安堵しただけで、正直なところ音声学に興味を持つことはなかった。

夏休みが明けて中期に入ると、セミナーは、前期を踏まえて発展的なものになった。俳句や短歌を言語学（音韻論、形態論、統語論、意味論など）のアプローチで分析した論文を読んだ上で、音声学的な視点から自作の俳句をつくり、中期最後のセミナーで発表するといった内容であった。

私は、俳句を作るときに、言葉の意味をどのように「音象徴」(sound symbolism)を通して伝えることができるのかに苦労した。しかし、音象徴をパズルのように組み合わせる作業は、今までの堅苦しい音声学のイメージから離れ、初めて面白いと感じることができた。ぼくは、ようやく言語学を学ぶ上でのスタートラインに立つことができたのだと思った。

詩作

・ 神隠し 探るかひなく あきあかね (草彌)

kamikakusi sagasukainaku akiakane

・ どこへゆく 水面に落つる 望月や (一関)

dokoeyuku minamonioturu motizukiya

・ 川面や 飛沫静かに 逆さ滝 (木村)

kawazuraya sizukusizukani sakasataki

・ 青紅葉 誠を知らず 物語る (今田)

aomomiji makotowosirazu monogataru

・ 雨足が あるく夜長に ひとり言 (佐藤)

amaasiga arukuyonagani hitorigoto